

Road  
to  
ZERO2010 NPT再検討会議  
生協代表団 ニュース4月15日(木)  
発行  
しずおか・やまなし  
神奈川の生協代表団生協代表団の壮行会を開催  
～被爆者と組合員の平和の願いを届けてきます～

「壮行会」の様子～写真は挨拶する原水爆禁止神奈川県協議会永沢事務局長

4月5日、コープ会館4階食堂において、「NPT再検討会議生協代表団」壮行会を開催し、参加者と送る側、合わせて31名が参加しました。

参加する一人ひとりから、自己紹介と“参加にあたっての思い”を報告してもらいました。“核兵器は人類とは共存せず、廃絶する以外に道はない。この一致点を大いにひろげていきたい。”“生協で、ヒロシマ・ナガサキに参加したり、原爆展を開催したりして、生協と平和のつながりの大切さを感じるようになってきた。被爆者と組合員の平和の願いを届けていきたい。”などの発言がありました。

## 被爆者の会の中村さん・原水協の永沢さんよりNPTへの期待が話されました



前回のパレードの様子

NYで開かれるNPT再検討会議には神奈川県原爆被災者の会から佐藤良生副会長、田村良夫座間支部副支部長、塩瀬康雄鎌倉支部副会長の4名が参加します。

日本被団協・日本生協連の代表団と協同して、各国の政府代表へ要請を行ったり、国連ロビーでの「原爆パネル展」開催、学校などでの被爆の証言活動を行ないます。

また、神奈川の被爆者が描いた「詞画集」を1000冊持参し、各政府代表と学校等での被爆の証言活動の場でお渡しし、被爆の実相を伝えていきたいと思えます。(「神奈川県原爆被災者の会」中村事務局長)

神奈川県からは生協代表を含めると133名が参加します。全国からは約2000名がこのNPT再検討会議に参加します。日本原水協の代表団は、署名を提出すること、各国政府代表に要請や激励を行なうこと、アメリカと世界の平和団体と交流し核兵器のない世界を実現する世論を大いに広げること、行動に参加する被爆者を手助けし、被爆の実相を広げることです。

核兵器のない世界を実現するために、核兵器禁止条約をテーブルにのせ誠実な交渉を始める確かな約束をさせることがいよいよ大切です。

(「原水爆禁止神奈川県協議会」永沢事務局長)



前回の原爆パネル展の様子